

議 事 録

会議の名称	令和５年度 第２回大竹市子ども・子育て会議
開催日時	令和６年３月２６日（火）１８：３０～２０：００
開催場所	大竹市役所 ３階大会議室
出席者氏名（敬称略）	別紙資料（１２名）
欠席者氏名（敬称略）	真鍋委員
事務局職員氏名	別紙資料
会議次第	１ 開会 ２ 議題 （１）大竹市子ども子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査報告書 （２）その他 ３ 閉会
配付資料の名称	資料１ 第三期子ども子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査結果報告書 資料２ 大竹市子ども・子育て会議（第２回）協議用資料 ニーズ調査結果の概要 資料３ 今後の流れ
その他	

討議内容	
事務局	【１ 開会】 ただいまから、第２回大竹市子ども・子育て会議を開催いたします。この会議は大竹市附属機関設置に関する条例で定める市長の附属機関になっており、同条例第８条第２項により、会議は委員の半数以上の出席で成立することとなっています。 ここで皆様に大変悲しい残念な報告がございます。大竹市民生委員児童委員協議会を代表して委員となっていた森本香里様が今年２月にお亡くなりになりました。この場をお借りして、ご冥福をお祈りさせていただきます。 現在の委員の総数は13名でございますが、本日の出席者は12名ということで、半数以上となっておりますので、会議は成立していることをご報告します。 本日の会議ですが、あらかじめご案内していますとおり、「第三期大竹市子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査について」を議題とさせていただきます。ではここからの進行は日域会長にお任せいたします。
会長	それでは、早速会議を進行したいと思います。なお、議事の円滑な進行のために事務局の説明、委員の発言は着席のままでお願いします。 では本日の配布資料について、事務局から確認をお願いいたします。
和可奈エンジニアリング（株）	《業者より配布資料確認、説明》 【議題（１）】 「第三期大竹市子ども・子育て支援事業計画の策定に係るニーズ調査結果報告書について」
和可奈エンジニアリング（株）	ニーズ調査結果につきましては基本的に報告書にまとめていますが、ボリュームが多いため、調査結果の要点整理と課題抽出の観点から前回調査結果との比較も加えた概要版を作成しました。第１章ではニーズ調査の概要を整理し、２章では集計結果として、就学前児童、小学生児童それぞれの結果をグラフや表とともにまとめています。また、第３章では自由記述内容を要約し、整理しています。 調査の対象者数は就学前児童800人、小学生児童800人で、調査票の郵送、配布、郵送回収とWEB回答を実施しました。調査期間は令和６年１月16日～１月31日で、回答者数は就学前児童が429件で回答率53.6%、小学生児童が442件で回答率55.3%、全体が871件で回収率54.4%でした。WEBでの回答割合は、就学前児童が34.7%、小学生児童が37.8%、全体が35.3%で、三分の一程度がWEBで回答した結果となっています。 続いて資料２のニーズ調査結果の内容を説明いたします。 まず、子どもと家族の状況につきまして、子どもの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたか、という問いは、前回と比較すると就学前児童、小学生児童ともに「父母ともに」が3～5%増加、「主に母親」が3.8%減少しており、父親の子育て参加が少しずつ進んでいる状況が見受けられます。 子育てをめぐる環境につきまして、日頃子どもを預かってもらえる人の有無に関する問いでは、いないは就学前児童で17.5%、小学生児童で12.4%と、15%程度の

保護者が日頃子どもを預かってもらえる人がいない状況になっております。

子どもの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこか）、という問いでは、祖父母などの親族、友人や知人といった意見が多い一方で、市の機関では、ネウボラの保健師、市家庭児童相談室、市こども相談室、市の子育て・教育関連窓口において気軽に相談できるという回答割合が3%を下回る少ない数字となっております。

母親、父親の現在の就労状況に関する問いでは、前回と比較すると母親は就学前児童で「フルタイムで就労」が6.1%増加、「以前は就労していたが現在は就労していない」が11.0%減少しているように、就学前児童の母親のフルタイム就労が進んでいる状況があります。一方、小学生児童では前回と今回で大きな変化は見られませんでした。ただし、小学生児童では「フルタイムで就労」、「パート・アルバイトで就労」ともに就学前児童と比べて1割程度高い状況にあり、合計で75%程度の方が既に就労している状況がこのような結果の背景にあると考えられます。

父親については、前回と比較すると「フルタイムで就労」の割合が就学前児童で約4%、小学生児童では約7%増加しています。ただし、これは無回答と不明の割合が減少したこと起因するもので、実態として変化があったかは今回の調査結果からは読み取れない状況です。

現在就労している方の1週当たりの就労日数は、前回と比較すると、母親では小学生児童で、父親では就学前児童、小学生児童ともに「6日以上」が1割～1割弱程度減少しており、働き方改革が少しずつ進んでいる状況が伺えます。

就労している方の1日当たりの就労時間は、前回と比較すると9時間以上の回答は就学前児童、小学生児童ともに母親では3～4%、父親では8%程度減少しており、労働時間の観点からも働き方改革が少しずつ進んでいる状況が伺えました。

就労している方の勤務時間帯は、母親では就学前児童、小学生児童ともに「主に日勤」が8割以上で、「日勤と夜勤の交代制」が約3%、「主に夜勤」は約1%となっています。一方で、父親では就学前児童、小学生児童とともに「主に日勤」が約6割で、「日勤と夜勤の交代制」が20～25%程度、「主に夜勤」は約1%と、母親に比べて「日勤と夜勤の交代制」の割合が高くなっています。この質問に関しましては、委員の皆様にご提案をいただきまして追加した質問です。

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況で、現在、幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育事業を利用しているかに関する問いでは、前回と比較すると「利用している」が7.1%増加、「利用していない」が6.9%減少しており、フルタイムで就労する母親の増加もあって、定期的な教育・保育事業の利用は増加傾向にある状況が伺えます。就学前児童を年齢区分別にみると、「利用している」は3歳以上では100%に近い一方、3歳未満では約半数程度に留まる結果になっております。

事業の種別に関する問いでは、利用割合の高い「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」、「認可保育所」、「認定子ども園」のいずれにおいても希望が現在を1割程度上回っており、定期的な教育・保育事業における利用者数の潜在的ニーズの高さが伺える状況となっております。その他の事業では、「ファミリー・サポート・センター」及び「ベビーシッター」で希望が現在を上回る割合が高くなっています。

また、1週間あたりの利用日数に関する問いでは、「6日以上」で希望が現在を1割程度上回っており、「6日以上」の潜在的ニーズが高い状況が伺えます。

利用開始時間に関する問いでは、8時以降では現在が希望を上回っている一方、

「7時」では希望が現在を6.3%上回っている状況となっております。

また、利用終了時間に関する問いでは、17時以前では現在が希望を上回っている一方、18時以降では希望が現在を上回っており、特に「19時」では希望が現在を6.0%上回っている状況です。

平日に定期的な教育・保育事業を利用していない理由に関する問いでは、「経済的な理由で利用できない」と「保育所などに空きがない」の合計で約1割の方が定期的な教育・保育事業の利用を希望しながら利用出来ていない状況が伺えます。

平日の教育・保育の事業として定期的に利用したいと考える事業に関する問いでは、前回と比較すると、利用割合の高い「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」、「認可保育所」、「認定子ども園」のうち「認定子ども園」で22.5%増加している一方、その他の3事業はいずれも減少しており、特に「認可保育所」において28.6%と高い減少割合を示しています。なお、その他の事業では、「ファミリー・サポート・センター」及び「小規模の保育施設」で今回結果が前回は上回って割合が高くなっています。

地域子育て支援拠点事業の利用状況について、現在の利用状況に関する問いでは、「地域子育て支援事業を利用」は全体で22.1%、年齢別では0歳児が45.3%と最も高く、0歳児以降、年齢が上がるにつれて利用率が低くなっています。

土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用状況について、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中における定期的な教育・保育事業の利用規模に関する問いでは、前回比較で、土曜日では「月に1～2回利用したい」が8.0%増加している一方、「ほぼ毎週利用したい」は5.7%減少しました。日曜日・祝日では「利用を希望しない」が3.0%増加しています。

一方で、長期休暇期間中では、「休みの期間中、週に数日利用したい」が9.7%減少している一方、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が7.4%増加しており、土曜日や日曜日・祝日に比べて長期休暇期間中の利用ニーズが高い状況が考えます。

放課後児童クラブなどの子育て支援サービスの利用につきまして、放課後の時間をどのような場所で過ごしているか、今後放課後の時間をどのような場所で過ごしたいかに関する問いでは、現在と希望をする状況を比較すると、「放課後児童クラブ」では現在が希望を5.0%上回る一方、「習い事」では希望が現在を8.8%上回っており、「習い事」の潜在的ニーズの高さが伺える状況となっております。

放課後児童クラブの利用時間に関する問いでは、現在と希望する状況を比較すると、17時以前と19時まで及び19時以降では現在と希望の差が均衡しているのに対し、18時まででは希望が現在を4.9%上回っています。

なお、利用時間は最大で月曜日～金曜日が8時半～18時30分、土曜日が8時～18時で、集団外会（3月～10月は17時、11月～2月は16時半）以降の利用はお迎えが必要で、土曜日は保護者の送迎が必要であることから、お迎えや送迎ができない世帯において、18時まででは希望が現在を上回っているものと想定されます。

土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中における放課後児童クラブの利用希望に関する問いでは、前回結果と比較すると「土曜日に利用したい」は0.9%減少している一方、「長期休暇期間中に利用したい」は45.0%増加しており、就学前児童の定期的な教育・保育事業と同様に長期休暇期間中の利用ニーズが高くなっています。

現在利用している放課後児童クラブの満足度に関する問いでは、大変満足、ほぼ満足の合計について、いずれの項目も8割を上回っているものの、「利用できる曜

日や時間」、「子どもへの接し方・指導内容」、「保護者への情報伝達」の3項目については、他の項目と比べて若干満足度が低くなっていました。

現在放課後児童クラブを利用していない理由に関する問いでは、8.8%の方が「利用料がかかる、高い」と回答し、「放課後児童クラブに空きがない」、「放課後児童クラブの開所時間が合わない」との回答と合わせて、12.7%の人が利用したくても利用できない状況となっています。なお、自由回答欄では利用回数に関わらず料金が一律であるため、料金の日割り計算を望むことも書かれていました。

お子さんの病気の際の対応で、この1年間に子どもが病気やけがで幼稚園や保育所等を休まなければならなかったことがあったかに関する問いでは、就学前児童で約9割、小学生児童では約8割の方があったと回答しています。

こうした場合にこの1年間に行った対処方法に関する問いでは、「母親が仕事を休んだ」が就学前児童で80.7%、小学生児童で67.3%と、ともに最も多くなっています。前回と比較すると、就学前児童、小学生児童ともに「父親が仕事を休んだ」の増加割合が最も高く、ともに15%以上の増加を示しています。

こうした場合に病児・病後児保育事業を利用したいと思ったかに関する問いでは、前回と比較すると小学生児童では「利用したいと思った」が4.4%増加している一方、就学前児童では「利用したいと思った」が5.1%減少し、「利用したいと思わなかった」が5.3%減少しています。なお、就学前児童、小学生児童ともに「利用したいと思った」に関しては、就学前児童が33%、小学生児童が15.8%に留まっており、まだニーズがそこまで多くない状況となっております。

不定期の預かり事業や、宿泊を伴う一時預かりなどの利用で、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業の有無に関する問いでは、「幼稚園の預かり保育」が7.5%、「一時預かり」が4.2%で、「ファミリー・サポート・センター」、「トワイライトステイ」、「ベビーシッター」はいずれも0%もしくはそれに近い状況となっていました。

現在事業を利用していない理由に関する問いでは、前回と比較すると、「特に利用する必要がない」が9.2%減少している一方で、「利用方法や利用料などがわからない」が8.6%増加しており、利用を希望する潜在的な利用者が増加している一方で、情報がうまく伝わっていない状況が伺いました。

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業を利用したいかに関する問いでは、前回と比較すると「利用したい」が8.5%増加して44.5%となっています。不定期な一時預かり事業の実際の利用状況と比較すると、全ての事業の利用割合の合計が12.1%であるのに対して、本問における利用希望は44.5%と実際の利用を32.4%上回っており、利用していない理由の解消如何では利用が増加する可能性がある状況が伺えます。

保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により子どもを泊りがけで預ける必要がある場合、ショートステイの利用希望の有無に関する問いでは、「利用したい」が13.5%、「利用する必要はない」が84.8%であり、宿泊を伴わない一時預かりの事業の利用規模と比べて利用希望が低い状況になっています。

子育ての悩みや相談先などで、子育てについて日頃悩んでいることや気になることに関する問いでは、就学前児童、小学生児童ともに「子どもの病気や障害、発育や発達」が最も多く、「子育てのための出費や仕事の収入面などから、経済的な負担が大きいこと」が上位3位内に入っております。そのほか、就学前児童では「子

どもの食事や栄養」、小学生児童では「子どもの友人関係や、登園・登校」が3位以内に入っていました。

子育ての中で喜びを感じたことや良かったことに関する問いでは、就学前児童、小学生児童ともに「子どもが成長していく姿や、元気に過ごしているのを見るのが嬉しいこと」が最も多く、「子どもとふれあっている時間が楽しいこと」、「子どもがいることで、家族が明るくなったり、家族の絆が強くなること」が上位3位に入っています。

子育ての悩みなどを次の場所や人に相談したことがあるかに関する問いでは、就学前児童、小学生児童ともに「学校・保育所（園）・幼稚園・認定子ども園」が45.9%、「子育て支援施設」28.0%、「市役所」25.9%の割合が高くなっています。一方で、「大竹市こども相談室」の割合が低くなっており、その理由としては、「相談窓口や方法が分からない」という答えが最も多くなっています。

子育て施設全般で、市に対してどのような子育て支援を充実してほしいかに関する問いでは、就学前児童、小学生児童ともに「手当など経済面への支援」が最も多く、「公園などの屋外施設を充実」、「屋内施設を充実」の順となっています。

大竹市での子育てに関してどのような印象を持っているかに関する問いでは、各選択肢に対して「はい」と回答した割合は就学前児童、小学生児童ともに全ての項目で前回結果と比べて増加しているものの、今回は「障害など配慮の必要な子どもを安心して育てられる」が、就学前児童、小学生児童ともに3割を下回るほか、「子ども同士や親子で遊んだり過ごす場所が充実している」が、小学生児童において3割を下回る結果となりました。

自由記述は本当に多くの意見をいただき、1つの中に色んな意見を入れていただいている方もおりましたので、個別の意見を抜き出して分類・カテゴライズした上で、内容とともに件数を整理しました。

自由記述の回答件数は就学児童で264件、就学生児童で202件、合計466件の回答をいただきました。項目別に見てみると、医療に関することが69件、支援策に関することが54件、遊び場に関することが45件、道路に関することが38件、この辺りが特に多い項目となっております。

貴重な意見が多かったので、回答数の合計が2件以上のものを順番に紹介させていただきますと思います。

保育園・幼稚園に関しては、保育園に落ちることがないように充実してほしい。保育料を安くしてほしい・無償化してほしい。これらが3件ずつ上がっていました。

一時預かりでは、子どもを預けるサービスを充実してほしい。延長保育か一時預かりがもっと早くから遅くまでであると良い。

病児・病後児保育では、病児・病後児保育があると良い。病児保育のコロナ検査をなくしてほしい。

ファミリー・サポート・センターに関する内容では、事前相談が平日昼間で使いにくいいため、ネットやメールでの相談や予約など、共働き世帯に配慮した事業になると良い。

子育て支援センターでは、土日祝日も利用できるようにしてほしい。

どんぐりHOUSEに関しては、どんぐりHOUSEを毎週土曜日明けてほしい。

放課後児童クラブでは、放課後児童クラブの選択肢を増やしてほしい（児童館を増やしてほしい）。利用回数に関わらず1ヶ月に3,500円の利用料がかかるので日

割り計算してほしいという意見が挙がっています。

小学校に関しては、登下校時の安全対策を充実させてほしい（GPSを持たせても良いことにしてほしい）という意見がありました。子どもの安全のためにパトロールを強化してほしいという意見も挙がっています。

給食に関しては、幼稚園を給食（無償含む）にしてほしい。安全な給食を提供してほしいという意見が挙がっております。

障害者では、障害のある子も安心して預けられる施設がほしいという意見が挙がっております。

支援策では、各種子育て支援を充実してほしい（税金を払っている世帯への支援もしてほしい）。ワクチンの補助がほしい。子育て世帯に定期的にこいちゃんクーポンや買い物5%オフの子育て世帯パスポートのようなものがあると良い。多子世帯への支援金があると良い。未就学時の保育料を安くもしくは無償化してほしい。岩国基地関連のエアコン設置補助金を検討してほしい。経済的支援（手当など）を検討してほしい。子どもの支援には所得制限をなくしてほしい。女兒の生理用品購入費用の助成がほしい。といった内容が挙がっています。

公共交通では、進学時の電車代の補助がほしい。小方駅をつくってほしい。

続きまして公園では、もっと公園などの子どもの遊び場を整備してほしい。ボール遊びができる公園や広場がほしい（コロナ以降、小学校のグラウンドを利用できなくなったため）。という意見が挙がっていました。

遊び場では、日曜日、雨天時などに屋内で遊べる施設を増やしてほしい。小方中学校跡地を子どもの遊び場として整備してほしい。帰宅を促す音楽を、現在、夏は18時のところを17時か17時半にしてほしいという意見が挙がっております。

図書館では、親子でゆっくり過ごせる図書館を増やしてほしい。

道路では、歩道がない箇所や狭い箇所、凸凹な箇所があるので整備してほしい。側溝に蓋をしてほしい。夜間、街灯がなく暗いため、街灯を整備してほしい。子どもたちが安心して自転車に乗れるように安全な道路にしてほしいという意見が挙がっていました。

医療に関しては、医療費を無料にしてほしい。小児科などの医療機関を充実させてほしい。小児科の休日夜間診療をしてほしい。他県（岩国市など）でも当日500円で医療を受けられるようにしてほしい（医療費は後日領収書を提出して精算する形としている）。病院が少ない。特に耳鼻科、皮膚科を増やしてほしいという意見が挙がっていました。

産婦人科では、分娩できる産婦人科がほしい。こちらも合計で11件、多くの意見が挙がっております。

続きまして相談に関しては、市役所窓口担当者の対応を改善してほしい。気軽に（悩んだときに）相談できる場所がほしい。

情報発信では、SNSやホームページでの子育て情報発信の頻度や内容を増やしてほしい（岩国市の子育てアプリのようにカレンダーでイベントや子育て関連行事の日時や場所、内容が分かると良い）という声が挙がっております。

習い事では、子どもの習い事を充実してほしい。学童の中で習い事ができるようにしてほしい。という意見が挙がっています。

イベントでは、（科学館や美術館などでの）子ども向けのイベントを増やしてほしい。学問イベントを増やしてほしい（イングリッシュキャンプ、化学イベントな

	ど)。子育て世代向けに行われるイベントについて、土日の開催も検討してほしい。 自治会などでは、子育て世代に子ども会、自治会、学校などの夜の集まりはやめてほしい。子ども会や町内会で課せられる役割が子育て世代にはつらい。という意見が挙がっていました。 最後、その他ですが、子連れで行ける飲食店を増やしてほしい。大型ショッピングセンターが欲しい。まるくる大野のような施設が増えると良い。子ども食堂を増やしてほしい。という意見が挙がっていました。 ニーズ調査結果の概要報告は以上となります。今後の施策検討に向け、ニーズ調査結果において特に留意すべき点や認識しておくべき点、各種状況の背景や原因等についてご意見をいただければと思います。
事務局	欠席の真鍋委員からご意見・ご質問をいただいているので、最初にご紹介させていただきたいと思います。 子育ての日頃の悩みや気になることに「子どもの病気や障害、発育や発達に関するすること」が多いです。早めに医療機関に繋げるなどの早期対応で、子どもの困り感を軽減していきたいと思います。 放課後等の小学校のグラウンドの自由利用は、学校の立場として、安全管理面、週休日等に起きる子ども同士のトラブルは、学校の教員による対応や安全点検（学校が定期的に行うもの）では不十分となる等の理由があり、（自由利用としないことに）ご理解をいただきたいと思います。
委員	公園ではほとんどボールを使って遊べないし、遊び場はほとんどなく家で遊ぶしかないです。和木小学校では遊べる状態なので、（大竹市でも）少しの時間でもいいし、サッカーなどで使われるなら曜日指定でもいいので（グラウンドを）使わせていただけるようにお願いします。
会長	私の経験上も全く同じです。今は公園でのボール遊びは禁止されていますが、子ども会の会長をした時に引き継ぎ資料の中に（ボール遊びを）許可するという資料がありました。矛盾しているんですね。
委員	小学校はやはり広いので、限られた時間でもいいから遊ばせてあげたいというお母さん方の意見があります。何故今まで出来ていたことが出来なくなってしまったんですか。
委員	聞いているのは、現にトラブルが起きており、それを学校の先生方に言っていく人がおられるから。親御さんが責任持つことが出来ればいいですが、一定数そうではない方がおられるのも事実。なので学校側はそういう手段を取らざるを得ないと聞いて私は納得しました。致し方ないと。
委員	利用するからには責任も伴うことを各ご家庭が理解した上で、それだったら利用していいですよ、という形にするのが今の時代適切かと思います。 小学校のグラウンドは、普段子どもだけで通学して帰って来ている場所で、行き帰りに関してすごく危険とは認識していません。責任を理解し、受け入れた上で利

	用することを認めていただいたなと思っています。
委員	グラウンドの話は、前段として公園がなかなか使えないのがきっかけの一つというところもあるんですが、第一期、第二期計画を立てる時にも秋葉原公園で遊べない、怒られた話が出たはずですが、改善されていなかったというところだと思います。その解決策の一つとして学校開放があると思います。
委員	グラウンドの利用に関して、先進地区では学校と老人クラブが協力して見守り体制をつくっているところもあります。ボランティアに協力を仰ぐのも市教委の役割でないかなと。
会長	一つの解決策かと思います。高齢者に見てもらうのは。いかがでしょうか。
委員	切り口としてはすごくいいと思いますが、やはり責任問題だとか、ボランティアのやりがい期待するだけではなく、予算立てなどを考えなければならないと思います。ボランティアは挑戦してダメならまた次を考えるというくらいの感じでいいと思います。
会長	和木小と大竹小では、そういった部分で何が違うか教えて欲しいです。
事務局	違いというところのお話は分かりませんが、大竹市内小学校は学校開放事業として事前に利用団体として登録すれば（グラウンドを）使えるようにしていますが、自由に使えるようにはしていないんです。 そうなった理由の一つは施設の安全管理の確保。公園のように自由に色々な方が入ってこられた後、施設管理を学校が全体的にしていくことの難しさがあったり、実際に使えるようにしていた時、土曜日、日曜日に遊びに来た人たちが遊具等の片付けをしていなかったり、そこでのトラブルについて休日に来ていた教職員に対応を求めたりしたことが実際にありました。教職員としても休日なので対応が難しいです。何よりルールを守って使ってもらえていなかった状況があり、責任が伴うことを理解した上で使っていただければ、勿論ボールを蹴らせてあげたい、遊ばせてあげたい気持ちは学校も持っていますが、責任を任せて十分出来るかは難しいのが現実です。
委員	使わせるなということではないんです。折角なら使えるようにという思いはありますが、何かあったらここは学校だから学校に対して言いに行くという思い込みをされている方が多いです。親世代の教育も大事だと思います。
会長	おっしゃるとおりだと思いますが、何か工夫したら出来そうな雰囲気はありますね。
委員	学校施設はあくまで学校管理なので、休日に関してはどこかの組織で管理します、昼の時間に誰か居てもらおうということが出来るならある程度目も届くというところもあるのではないのでしょうか。

委員	もし同じようにうち（ひまわり さかえこども園）の施設で土日祝日、正月お盆に遊ばせて欲しいと言われた時、誰が利用するか管理出来ないような状況で休日にお貸し、どこをどういう風に使われているか分からない状態で月曜日。私たちは必ず毎朝安全点検を行って、点検が終わってから子どもたちを園庭に出しています。今通われているお子さん、職員も毎日知っている者同士が使っている施設で、これ以上無茶なことはしていないだろう、ここが壊れるようなことはしていないだろうという視点でチェックしています。 日頃ここに通われていない方が使われ始めた時に、自分たちに気付かないところで物が壊れていたり尖っていたりしていた場合、預かるお子さんたちが大きな事故や最悪の場合死亡事故に繋がるのではという不安はちょっとありました。やはり自分たちの目の届いていない時に不特定多数の方に利用されるのは少し怖いという不安もあります。（施設開放は）あまり簡単なことでもないと思います。和木がされているのは何か工夫されているのかもしれません。
委員	民生委員に入っているお母さん方の意見として、土日の休みや正月休み（に遊ぶこと）は望んでいません。月曜から金曜までの学校が終わった後、何時間でもいいから友達と遊びたい、広いところで遊ばせたいと希望しています。
委員	概要を聞いて気に留まったのは、やはり情報発信が上手くいっていないのが印象に残りました。子育て以外でも、調べてみると市のHPの中に実は載っていることがあります、それを知っている人が結構少ないように思います。子育てに関することの入口は割と分かりやすく工夫されていますが、少し入ってみると逆に見づらいです。パッと見て分かる状態にはなっていません。情報がHPに掲載されているというPRも足りないと感じていました。
副会長	私も、市のHPを見て入口は分かりやすいし、電子版の子育て支援ブックは今時のデジタルを使う方には使い勝手がいいと思いました。なかなか情報が届かないというのは自由記述にもありましたが、最初にこのことを知るきっかけになるのは何かないと思いました。 子育て支援課、子育て支援をされている方の紹介、母子手帳や出生届を出す時に一緒に両親と（情報を）見ていく、丁寧な説明をもう少しされるといいのではないのでしょうか。また、実際されているのかなという意見です。
委員	今回のアンケートの概要の説明で唯一線を引いたのが、P.34の「相談」の「市役所窓口担当者の対応を改善して欲しい」。複数名いたのがすごく残念でした。若干名が印象悪かったと推察しますが、今から計画立てて事業をしていく上で、お金や人が足りない、働き方改革、何も出来ない、愛想もないなら何が出来るとでしょうか。改善はされていると思いますが、今後引き続き相談者が相談しやすい窓口で、色々な情報を紹介しやすい窓口であって欲しいです。
委員	まず、子育てにおいて窓口なるのはネウボラになるのではないのでしょうか。本来とはやり方が違うので、ここが上手くいっていないんじゃないかと思います。

	本来のネウボラは、妊娠が分かった時点から小学校までは同じ保健師が付きま す。市はこの辺りをもう少し配慮していけばいいと思いました。
事務局	保健師は地区担当は持っていますが、訪問等に出ている場合もあります。市役所 が空いている時間、いつでも来てくださいという形にしているため、担当地区の保 健師いない（場合もあります）。担当制については、地区担当はありますが、きち んと妊娠時から担当出来ていない状況があります。今後どのようにしていくかご 意見をいただいたため、検討していきたいと思います。
委員	ネウボラについては、前期の会議でも発言しましたし、今茅原委員がおっしゃっ たように、私はこの人（保健師）に相談すればいいというのがあればいいです。 人と人との付き合い方で合う合わないがある中、子育てと日々不安を持ち問題 を抱えながら仕事もしてお母さんもして主婦もして…と色んな側面を持っている 方からすると、この人（保健師）と話をすればいいというのがあればすごく安心感 があると思います。（本来のネウボラを）是非前向きに検討していただきたいです。
委員	傾向として、お母さんが働く方が増えている、放課後児童クラブや保育所、子ど もを一時的に預ける等、平日のニーズが高まっているように感じました。 保育施設や色々なクラブとか、預かりが出来る施設と人へのニーズも高いよう に感じました。この辺りは人もお金もかかってくるニーズですが、今後もっと増や していこうという感じなのでしょうか。計画があれば聞いてみたいです。
会長	今のお話は、お父さんがお休みのときに子どもさんがいて、例えば親子でどこか でボール蹴りをしようとかいう発想であるかもしれないし、そうじゃなくて、うち の子をどうか預かってくれないかな、という思いもあったりします。今のは預かっ てくれるところがないかな、というお話だったんですか。
委員	そうですね。
会長	お父さんと子どもがボール蹴りをしようと思った時に、広い庭があればいいん ですが、そうでなかった時どこでやればいいのかと思いながら聞いていました。安 心してボール蹴られる等、メリハリを持って分かるようにしてほしいですね。
委員	しっかりフェンスがしてあってここなら大丈夫ということが明確に分かればい いです。（ボール遊べる公園かどうかは）今は保護者の口コミの蓄積しかありませ ん。ここの公園は（ボール遊びが）出来るということが示されていればいいですね。
委員	急に看板が出て最近（ボール遊びが）駄目になったというところも多いです。
会長	フェンスなどは工夫出来そうですよね。是非やってほしいと思います。
和可奈エンジニアリング（株）	今回のアンケート結果でも「公園等の子どもの遊び場を増やしてほしい」という 意見がすごく挙がっていましたが、「日曜日や雨天時に屋内で遊べる施設を増やし

	てほしい」という意見も屋外で遊びたいという意見に近いくらい多く挙がっていました。この辺りの現状や、こうしたらいいというご意見を頂けたらと思います。
委員	この時期雨がが続くと外で遊ばなくて、(子どもを)岩国市のこども館やまるくる大野、ショッピングモールの有料スポットに連れて行きますが、お金がかからない所が少し要ると思います。大竹にも室内で遊べる場所があればと思います。
委員	この会議は話したら何か叶うんでしょうか。夢を話してもいいのでしょうか。このニーズに基づいてどの事業をした方がいいというヒント、ネタを提供するということでもいいですか。
委員	ニーズに基づいてどういう事業をしましょうか、というのを考える材料を我々が提供するという感じです。事業を我々が決める訳ではないです。
会長	多分後で市長が聞いてくれるのではないかと思います。
委員	分厚い方の資料P.122に「不登校の娘が調査対象」とあるのが気になりました。(対象者を)ランダムに選ぶのも大切ですが、デリケートな子もいるので、問1(の回答)で答えなくていいと配慮してあげた方がいいのではないのでしょうか。
副会長	今回のニーズ調査の結果について、HPで公表していくという話があったと思いますが、自由記述では個人の特定とまではいかないですが上げない方がいい内容もあり、どこまで公表するのか教えていただければと思います。
事務局	公表の仕方について、少なくとも個人が特定されるのではないかというようなものは工夫をして公表していく予定です。
副会長	自由記述が1人2人としても大きなご意見と思うので、各担当課の方に自由記述も含めて結果を見ていただいた上で、課題抽出に生かしてほしいです。
事務局	もちろんその考えです。
副会長	自由記述が整理されており分かりやすいと正直思いました。一方で、分類する中で、回転寿司の誘致がありますが、きっと休みの時に家族で気軽に行けて楽しみたい、レジャーや余暇を楽しく過ごしたいと意味合いもあるかと思いました。根っこにあるニーズをしっかりと見て欲しいし、それを各担当課にも伝えていただきたいと思いました。
会長	では最後に、「その他」ということで、今後の流れについてよろしく願います。

和可奈エンジニアリング（株）	【議題（２）】その他 ニーズ調査の活用につきましては、本調査で抽出された課題をもとに計画の理念や施策の方向性、施策内容を検討する上での基礎資料とするとともに、計画期間における教育・保育及び各種地域子ども子育て支援事業の量の見込みを算出し、量の見込みに対する確保方策を検討するための基礎資料として活用して参ります。 アンケート調査結果と併せて、施策の課題やニーズの把握分析を行い、計画に反映することを目的に、今年４月から関係各課を対象とした記述式の調査を実施いたします。調査に際しては、関係各課から関係団体や事業所等に問い合わせを行い、実態の正確な把握に努める予定です。 主な調査項目は、施策・事業の取組内容や達成状況、残された課題、今後必要な取組、また今後の方向性等を調査する予定としています。 第３回大竹市子ども・子育て会議は６月～７月頃に開催し、関係各課の記述式調査結果についてご説明させていただいた上で、留意すべき点や必要な取組について協議していただくことを予定しております。 会長 事務局よりお知らせ等ありましたらお願いします。 事務局 次回の会議については６月から概ね７月ごろに開催ということで、また委員の皆様にご都合等確認しながら日程を決めさせていただきたいと思います。 最後になりますが、三原部長よりご挨拶したいと思います。 事務局 先ほどどうやって公開するのかというお話があったと思います。アンケートですので、こちらが恣意的なものを入れて公表するということはありません。個人特定につながるような地区や年齢を取ってしまえば、ほぼこのまま出したところで問題ないと思っております。結果として公表はしようと思っております。 ただ、計画に載せていく時には、先程あったような、概要を載せていく形になるかもしれませんが、この辺りは今から検討させていただきます。 今回勉強になったと思うのは個人の意見です。そこを市としてどう考えるのかいつも問題になっています。その意見の背景にあるものを考えなければならないことが勉強になりました。今日いただいたご意見は関係各課で練っていきたいと思います。引き続きご協力をお願いします。 会長 以上をもちまして、本日の大竹市子ども・子育て会議を終了いたします。 委員 （会議は）何回までやって、最終目標は何ですか。何を目指して集まって意見を出すのか少し見えません。これだけ人を集めてやって目標地点が見えないです。 事務局 最終的に今考えているのは、来年度に４回程度開催し、最終的に第三期の子ども・子育て計画をまとめるのが最終地点です。そのためには、まず関係各課の聞き取りをしながら徐々に肉付けし、最終的に第三期計画に行き着くと考えています。よろしくをお願いします。
-----------------------	--